

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
36406	クリエイティブデザイン Created Design	小山田 尚弘		専門	1	選択	1・2後期

科目の概要

デザインの分野は、ファッション、インテリア、プロダクト、グラフィックなど多岐にわたる。この授業では、デザインを個性的に発想し楽しく表現できる事を目標に進める。授業は、自由にイラスト画を描いたり、商品のポップデザインを制作し修得します。また、花をいろんな角度からたくさんスケッチした後、描いたスケッチからアイデアを発想し、花柄のデザインを完成する。他に、コラージュやテクスチャーなどの技法を使ったデザイン作品も制作する。さらに、潜在能力開発の一環として学生が制作した作品を岡崎市や西尾市などの市民美術展に出品、京都府主催の着物デザインコンクールにも出品する。授業を通して、社会人基礎力を身に付け、個性的なアイデア表現ができるように潜在能力開発を身につける。

学修内容	到達目標
① 生活に活かせるデザインを知る ② デザインを制作する発想方法を知る ③ 創造力を育てる ④ 学生の潜在能力開発の一環として美術コンクールに出品し入選・受賞を目指す ⑤ 美しい配色や画面構成を学習する	① 生活に活かせるデザインの提案ができる ② デザインを制作する発想方法が理解できる ③ 多方向的思考から制作のアイデアを出し、学生独自の感性で創造的に作品を仕上げるができる ④ 複数の美術コンクールに作品を出品し入選・受賞を目指すことができる ⑤ ユニークな画面構成や美しい配色の作品に仕上げるができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	作品制作では、どんな配色で描き、どんなスタイルで描き上げるか、総合的に検討して仕上げるができる。
	働きかけ力	
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動した。
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。
	計画力	
	創造力	課題のデザインを色んな角度から創造し、追求し考え制作することができる。
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明した。
	傾聴力	構図や配色について多方面からデザインを検討し、迷ったら積極的に教員のアドバイスを参考に仕上げるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じてプリントを配布する
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他の科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
美しい形や色彩について日頃から関心を持つこと。 ・ 作品の制作は綺麗に仕上げること。 ・ インターネットなどで参考できる作品を調べること ・ 作品の制作点数は5～6作品くらい仕上げる	制作時の画用紙・筆やポスターカラー・アクリル絵具は各学生が購買などで購入し準備し、作品は自己管理すること。 ※作品制作費用・・・300円 ・ 机の上や周りを汚さないように制作する。汚したら雑巾などでふき綺麗にすること。 ・ 作品の提出期限を過ぎての提出は認めない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	✓
							⑤	✓
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん描き、デザイン性に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S：上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価となっている。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザイン知識を身につけている。</p> <p>C：上記の基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「オリエンテーション」 授業内容やスケジュールについて説明する。参考見本などを見せながら制作について話す。 異素材のコラージュ制作の説明をします。注意事項や持ち物など連絡する。	講義 制作内容とスケジュール説明	授業についてまとめ理解し、持ち物などメモし準備することができる	(復習) ・ 次回の授業で持参するものなどについてまとめ準備する ・ 異素材のコラージュ制作についてまとめる。90	90	主体性 計画力 傾聴力 実行力
2週 /	異素材のコラージュ制作① デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを出来るだけたくさん描く。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	課題からたくさんのアイデアスケッチを描きあげることができる	(予習) 異素材のコラージュ制作課題についてアイデアをたくさん考えてくる (復習) 授業で制作したコラージュ作品の配色や構図について再度検討してくる	45 45	計画力 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	異素材のコラージュ制作② デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを描く。教員にアイデアスケッチの絵を見せ指導してもらう。写真も構成に入れデザインする。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	アイデアスケッチから具体的にデザインを絞り色鉛筆などで下絵を塗り制作できる	(予習) 前回制作した作品について異素材の形や色彩など検討してくる (復習) 作品を見直し配色について検討してくる	45 45	主体性 計画力 創造力 実行力
4週 /	異素材のコラージュ制作③ デザインのアイデア作り課題を与えるので、アイデアスケッチを描く。教員にアイデアスケッチの絵を見せ批評してもらい作品は提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	自分の発想でポップデザインのイラストを自由に描くことができる	(予習) 異素材の組み合わせ方法について考えておく (復習) 作品が1つ完成したら2つ目の作品アイデアを考えてくる	45 45	主体性 計画力 創造力
5週 /	ポップデザイン作品制作① ポップデザインについて説明する。イラスト・構図・アイデア作りについて説明する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	ポップデザインのイラスト・構図・アイデア等について学び描きあげることができる	(予習) デパートなどの商品売り場を見学し、商品ポップのデザインや配色方法など観察しておく (復習) イラスト・構図・アイデア作り・ポップデザインについてまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力 課題発見力
6週 /	ポップデザイン作品制作② どんな商品のポップを描くか購買に行って決定する。ポップデザインの種類について説明する。イラスト作品が何枚か仕上がったら、各自で作品の検討を行う。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	イラスト作品が何枚か仕上がったら、各自で作品の検討を行うことができる	(予習) よく売れるポップデザインとはどんなものか考えまとめてくる (復習) ポップデザインの種類や方法についてまとめてくる	45 45	主体性 計画力 創造力
7週 /	ポップデザイン作品制作③ ポップデザインの配色やキャッチコピー文章について資料を配布して説明する。作品の検討を重ねて仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	配色についても色んな角度から検討することができる	(予習) ポップデザインの配色やキャッチコピー文章は、どんなものかネットで調べておく (復習) 授業で制作したポップデザイン作品を更に良いデザインになるように検討してくる	45 45	主体性 計画力 創造力
8週 /	ポップデザイン作品制作④ イラストを描く。 デザインが決まったら、具体的にデザイン完成する。 完成したら購買に展示する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインの方向性が決まったら計画的に仕上げるることができる	(予習) アイデア作品をたくさん制作してまとめておく (復習) 制作中の作品の配色や構図について再検討してくる	45 45	主体性 計画力 創造力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 / /	着物デザインの作品制作① 鉛筆で描き、教員が学生の作品を見ながら指導していく。 ※京都府主催の全国着物デザインコンクール出品用作品	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	鉛筆でデザインの輪郭が描けたらポスターカラーで塗って仕上げる ことができる	(予習)アイデア作品をたくさん制作してまとめておく (復習)制作中の作品の配色や構図について再検討してくる	45 45	主体性 計画力 創造力
10週 / /	着物デザインの作品制作② 作品制作、鉛筆で描く、 アイデアスケッチをたくさん描き仕上げる	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	鉛筆でデザインの輪郭が描けたらポスターカラーで塗って仕上げる ことができる	(予習)ネットや雑誌を調べて着物柄のデザインは、どんなものがあるか見ておく (復習)どんな着物デザインを制作するかアイデアを考えてくる	45 45	主体性 計画力 創造力
11週 / /	着物デザインの作品制作③ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。たくさんのアイデアスケッチから良いアイデアを1つ選び出す。画用紙にデザインを描き、刀で切り抜いて、型紙を制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品のボリューム感、統一感、変化、バランスなど出来ているか、確認しながら仕上げる ことができる	(予習)自宅に帰宅して花を鉛筆デッサンで描いて仕上げる (復習)着物デザインの制作方法についてまとめておく	45 45	主体性 計画力 創造力
12週 / /	着物デザインの作品制作④ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。選んだアイデア作品を絵描きを進める。型紙を使って絵具で仕上げていく。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	鉛筆でデザインの形を描き仕上げる ことができる	(予習)花のデッサンからアイデアをたくさん出して作品を考えておく (復習)たくさんのアイデアスケッチから良いアイデアを1つ選び出しておく	45 45	主体性 計画力 創造力 課題発見力
13週 / /	着物デザインの作品制作⑤ 作品制作、ポスターカラー仕上げ。配色について検討し教員にも相談しながら決定する。型紙を使って絵具で仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインの形が決まれば、塗り色を決めポスターカラーで仕上げる ことができる	(予習)作品の仕上がりが遅れていれば自宅で作して仕上げてくる (復習)着物デザインの構図や配色について再度検討してくる	45 45	主体性 計画力 創造力 傾聴力 発信力
14週 / /	着物デザインの作品制作⑥ 作品制作、ポスターカラー仕上げデザインを計画的に仕上げていく。型紙を使って絵具で仕上げる	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	コンクール申し込み用紙を配り記入することができる	(予習)デザインの色彩や形体の再検討を行う。塗りなおしも考えて検討しておく (復習)着物デザインについてデザインをまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力
15週 / /	着物デザインの作品制作⑦ 画面構成をよく考え形や配色決めて仕上げる。型紙を使って絵具で仕上げる。 ※まとめ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の配色や構図について再度、検討し問題があれば訂正できる	(予習)最後の授業で作品が提出できるように仕上げて来る (復習)完成した着物デザイン作品について、良かった所、悪かった所をまとめる	45 45	主体性 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力